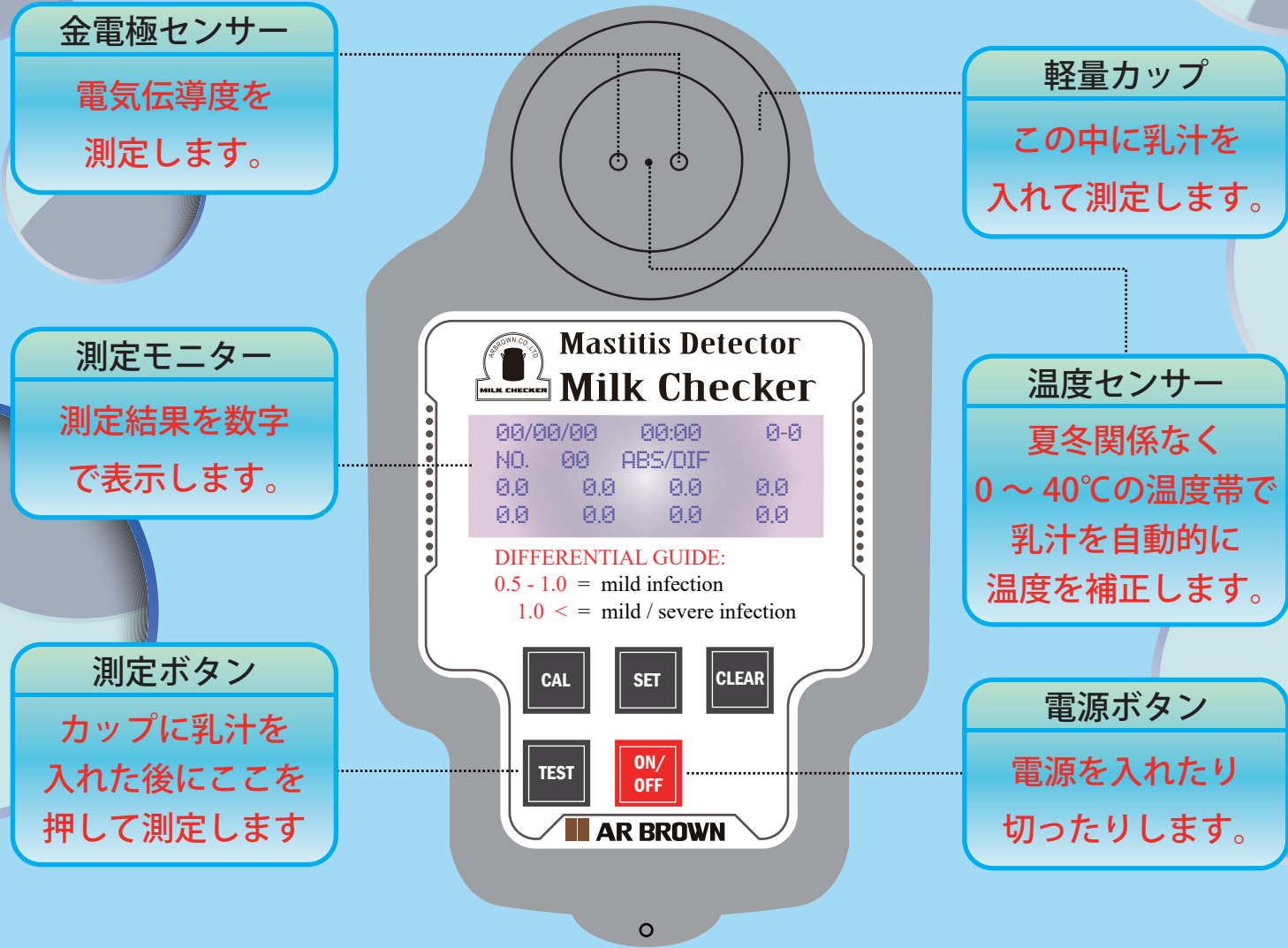


# 主な各部の名称と機能



# MILK CHECKER MCM-5L



## デジタル乳房炎測定器



### 仕様

- 測定原理：電気伝導度法
- 表示：20文字×4ライン表示
- 測定範囲：0～13mS/cm
- 精度：3%±1 デジット
- 自動温度補償：3～40℃ (25℃補正)
- データ転送：RS232C ケーブルによるデータ転送
- R T C：時刻表示
- EEPROM：測定データ保存 (500件)
- 電源：乾電池 (単3×2本)
- 消費電力：140mA (測定中バックライトオン)
- 本体寸法：91 (W) × 149.5 (H) × 118 (D) mm
- 重量：320g (電池込み)

### 潜在性乳房炎とは

臨床型乳房炎は乳液中にブツが出たり、乳房に種々の変化を起こすので、すぐ診断ができます。しかし、**潜在性乳房炎**は肉眼で確認することは難しく、その上大きな損害を酪農家にもたらします。

### 乳房炎による経済損失

**潜在性乳房炎**は臨床型より40～50倍も多く、通常臨床型に移行し、感染機関も長く発見しにくいので感染による乳量の辺相は酪農家に多大な経済損失をあたえています。

### ミルクチェッカーの原理

乳房炎による乳質の変化の特徴は、NaClの増加とKと乳糖の減少です。その割合は炎症の原因や程度に関係なく、浸透圧バランスによりほぼ釣り合っています。ミルクチェッカーは乳質の異常により乳房炎を診断出来るので、乳糖の低い成分乳も同時に確認出来ます。

✔ デジタル表示によりその場で数値結果が分かる

✔ 早期発見による経済損失抑制

本製品での使用は自主検査を目的としております。

本製品で異常乳判定の場合は、獣医等に必ず相談して下さい。



エア・ブラウン株式会社 ヒューベット部  
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-13-1 銀座三井ビルディング  
TEL : 03-3545-2881 / FAX : 03-3543-8865 / E-mail : a-r@arbrown.com  
<https://www.arbrown.com/products/milkchecker/>



# 乳房炎を30秒で簡単に測定!!

## ミルクチェッカー MCM-5L

コンピュータ内蔵により軽い乳房の炎症も確実に検出!!  
 農場や畜舎内の検査等としてご活用頂くことで、HACCPの  
 危害要因物質のモニタリング試験として最適です。

- | 特徴   | 使用による効果   |
|--|---|
| 1. コンピュータ内蔵の診断装置により瞬時に測定。簡易診断液では気づきにくい初期の炎症も、細かく数字で正確に発見できます。          | ● 初期炎症による潜在性乳房炎を検知出来ます。臨床型乳房炎（乳汁中のブツ等の発生）とは異なり、早い段階での対応が可能なので、経済的損失を抑制出来ます。 |
| 2. 簡易操作により、乳牛1頭の測定時間は30秒と迅速。作業者の手間を取らせません。次の乳牛を測定する際の洗浄は不要で、連続で測定出来ます。 | ● 乳質改善の補助ツール活用により、良質な生乳を出荷出来ます。   |
| 3. 電気伝導度の原理に基づいた温度センサー付デバイスなので、朝・晩、夏・冬関係なく、いつでも、何処でも正確に測定出来ます。         | ● 農場 HACCP のモニタリングツールとして最適です。   |
| 4. 乳牛1頭の4分房を記憶し、更に4分房の差を計算し表示するので、どの乳房が炎症を起こしているか直ぐに判断出来ます。            |   |
| 5. ロバストボディーにより丈夫で長持ち。生活用防水設計なので、水回りの現場でもご使用出来ます。                       |   |



**判定基準** 家畜共済の特殊疾病の診療指針（1986年）によると下記に記載されている電気伝導度数値のいずれか一方、もしくは両方を満たしている場合、乳房炎分房の恐れがあります。

伝導度絶対値 (mS/cm)	6.2mS/cm 以上	異常乳
分房間差値	0.5mS/cm 以上	乳房炎

### 実測値及び分房間差値による異常乳の判定基準

絶対値 (ms/cm)	分房間差値	評価
6.2> 以下	0.5> 以下	正常乳
6.2> 以下	0.5< 以上	乳房炎乳の疑いあり
6.2< 以上	0.5< 以上	乳房炎の可能性、低成分、生理的異常乳を伴う
6.2< 以上	0.5> 以下	乳房炎乳、低成分乳、生理異常乳

### 測定表示例

#### 正常乳の例

YY/MM/DD	HH:MM	2-7
NO. 1	ABS/DIF	
5.3	5.3	5.2 5.4 -
0.1	0.1	0.0 0.2 -

\*4分房の差が0.5以下及び絶対値が6.2以下。

#### 異常乳の例①

YY/MM/DD	HH:MM	2-7
NO. 1	ABS/DIF	
5.9	6.1	5.8 6.5 -
0.1	0.3	0.0 0.7 -

\*右端の絶対値は6.5且つ分房間差値は0.7なので乳房炎の疑いあり。

#### 異常乳の例②

YY/MM/DD	HH:MM	2-7
NO. 1	ABS/DIF	
5.0	5.3	5.9 5.2 -
0.0	0.3	0.9 0.2 -

\*全ての絶対値は6.2以下だが、分房間差値が0.7なので乳房炎の疑いあり。

#### 低成分乳 / 生理異常乳の例

YY/MM/DD	HH:MM	2-7
NO. 1	ABS/DIF	
6.5	6.3	6.4 6.3 -
0.2	0.0	0.1 0.0 -

\*全ての絶対値が6.2以上だが、分房間差値が0.5以下。

### CMT 変法との比較

瞬時の結果判明 (数秒以内)	×	✓
再現性	×	✓
数値による結果判明 / デジタル表示	×	✓
低環境温度下での使用で正確な結果判定	×	✓
PCによる測定結果の管理	×	✓
測定時の化学系試薬使用	×	✓
温度管理プローブ	×	✓

**\* 同じ分房の分房間差値が0.4を続けて表示する場合、乳房炎の恐れがありますので、獣医師にご相談下さい。**